

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 1 1	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Blood HDL cholesterol levels influence association of alcohol intake with blood pressure in young men but not in middle-aged men. 血中HDLコレステロール値は中年男性より若年男性で飲酒と血圧の関係に影響する	
執筆者	
Wakabayashi I.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Clin Exp Res. 2007 Sep;31(9):1552-7.	
キーワード	
年齢、アルコール、動脈硬化、血圧、HDLコレステロール	
要 旨	
<p>目的: 血圧とHDLコレステロール値は飲酒の影響を受ける。しかし、飲酒と血圧の関係が、血中HDLコレステロール値によって変化するかどうかはまだ分かっていない。</p> <p>方法: 対象者は定期健康診断を受けた20-29歳と50-59歳の男性労働者21,301人である。それぞれ若年層と中年層を代表している。対象者を血中HDLコレステロール値で3群に分け、さらに1日飲酒量に基づいて3群に分けた。即ち、非飲酒者、少量飲酒者(エタノール30g未満)、大量飲酒者(エタノール30g以上)の3群である。それぞれの年齢、血中HDLコレステロール値別の群ごとに、血圧、高血圧の頻度を飲酒量で分類した3群で比較した。</p> <p>結果: 20-29歳のHDLが最も低い群では、血圧値、高血圧の頻度は、飲酒量に基づく3群で有意な差はなかった。20歳代のHDLコレステロール中位群・高値群では、血圧値は大量飲酒者が非飲酒者に比べて有意に高く、高血圧頻度は飲酒者が非飲酒者に比べて有意に高かった。一方、50-59歳の全てのHDLコレステロール群で、血圧値は少量飲酒者・大量飲酒者が非飲酒者に比べて有意に高かった。高血圧の頻度は、飲酒者が非飲酒者に比べて有意に高かった。</p> <p>結論: 中年男性の血圧は、血中HDLコレステロール値によらず飲酒で高くなること、また、若年者よりアルコールの影響を受けやすいことが示唆された。</p>	